



公益財団法人
せんだい男女共同参画財団
について

平成30年2月1日

せんだい男女共同参画財団

◆シンボルマーク

仙台藩の藩祖伊達政宗の兜の弦月をモチーフに仙台を表わし、人と人との連携、協働、発展、飛翔を図案化したものです。

シンボルマーク



◆キャッチフレーズ

性別にとらわれずに、一人ひとりが「自分らしさ」を発揮できる社会を目指す、財団の趣旨を表現しています。

キャッチフレーズ

きつと もっと ずっと 私らしく あなたらしく

※シンボルマークとキャッチフレーズは公募により決定したものです。



アウトライン

- **2001年4月 財団法人として設立**
(2012年4月公益財団法人へ移行)
- **基本財産 2億円** (全額仙台市出資の市の外郭団体)
- **設立目的** 「男女平等のまち・仙台」の早期実現に向けて
 - 女性の自立及び社会参画を促進する事業の実施
 - 市民の主体的活動の援助育成
 - 男女平等の社会的風土づくりの推進
- **組織** (事業概要P.1)
- **職員数 48名** (2017年4月1日現在)
 - 固有職員23名、市OB職員3名、嘱託職員11名、臨時職員11名



あゆみ

- 1987年3月 エル・パーク仙台開館
- 2001年4月 財団設立
エル・パーク仙台の管理運営受託
- 2003年4月 エル・ソーラ仙台の管理運営受託
- 5月 エル・ソーラ仙台開館
- 2004年4月 2つのセンターを管理運営する、指定管理者となる
(現在の指定期間 2016～20年度)
- 2011年10月 エル・ソーラ仙台リニューアル・オープン
- 2012年4月 公益財団法人に移行
- 2013年4月 仙台市母子家庭相談支援センター事業受託

事業概要(自主事業)



(1) 調査研究

- ・震災が女性のライフコースに与える影響に関するパネル調査 (2013年度～)

(2) 広報・啓発

- ・財団広報誌「パンジー」など各種広報物、震災記録誌
- ・企業、団体、学校、地域の研修などへの講師派遣、出前講座等の実施 など

(3) 情報収集・提供

- ・ホームページ運営管理

(4) 学習支援、 研修、交流促進

- ・ジェンダー論講座、ガールズのしごと準備講座、働く女性のPotluck meeting、育休中に話そう「しゃべり場“働く”ということ」、まちづくり女性人材育成プログラム など

(5) 市民活動の支援

- ・男女共同参画推進せんだいフォーラム、自助グループ支援事業、女性リーダー育成講座 など

(6) その他事業

- ・女性の活躍推進事業(企業の未来プロジェクト、働く女性応援セミナー&交流会)、託児事業、各種共催事業 など



事業概要(指定管理・受託)

指定管理事業

施設管理・運営

エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台の諸室の貸出、利用相談等

相談

- 女性相談
一般相談(面接・電話)、法律相談
- 仙台市配偶者暴力相談支援センター事業
- 性別による差別などに関する相談
- 自立支援事業

情報提供 市民活動支援

- エル・パーク仙台
市民活動 スペース
- エル・ソーラ仙台
市民交流・図書資料スペース

受託事業

母子家庭相談支援センター

- 就業・自立相談(面接・電話)、特別相談
- 就業支援講習会(就業支援セミナー、パソコン講座等)
- 企業向け啓発セミナー
- ひとり親家庭関係相談員等への活動支援

その他

仙台市からの講座等の受託

震災・復興の経験をつなぐ



○ 日本女性会議2012仙台 「きめる、うごく、東北(ここ)から」

2012年10月26日～28日 実施

全国47都道府県から約2,200名が参加し、震災の経験と復興過程への女性の参画の重要性を発信した。

会議終了後、実行委員会からの寄附を受け、「復興と女性 基金」を設立し、被災地の現状の継続発信を行った。



○ 第3回国連防災世界会議関連事業

2015年3月14日～18日 実施

エル・パーク仙台が「女性と防災」のテーマ館となり、防災・復興と男女共同参画に関連したシンポジウムや展示等を行った。



○ 世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2017 ～トーク×トーク 女性たちのリーダーシップ2017

2017年11月26日 実施

様々な分野で力を発揮する女性たちに焦点を当て、「平時からの女性のリーダーシップ」をテーマにトークセッションを行った。



女性のリーダーシップ育成



○ 東日本大震災復興のための女性リーダーシップ基金

2012年11月～2016年9月 実施

男女平等の先進国であるノルウェー王国からの復興支援の一環として、2012年11月に基金を設立し、地域における防災や復興の担い手となる女性の人材育成プログラムの実施や、全国的な男女共同参画センターのネットワーク構築に取り組んだ。

○ 女性リーダー育成関連事業 (継続中)

企業の未来プロジェクト

仙台・宮城・東北の企業を対象に、女性活躍推進の取り組みを具体的にサポートするプロジェクト



女性と防災まちづくり「決める・動く」

女性がマネジメント力を高め、地域でリーダーシップを発揮するための力をつける研修



経営基本方針 わたしたちの北極星☆

(2017年3月策定)



せんだい男女共同参画財団は、「男女平等のまち仙台」を目指して、変革を起こし続けます。

- ・ **一人ひとりの困難は社会の問題そのものであることを明らかにします**

生きづらさや貧困、暴力被害など、女性が抱える困難の背景にある構造を明らかにし、社会全体で取り組むための視点を広く共有します。

- ・ **多様な主体と協働し、一人ひとりの「決める」・「動く」を支援します**

東日本大震災の経験を通して改めて認識した、女性の自己決定の重要性と行動の必要性を踏まえ、市民、諸機関・企業・団体と力を合わせて、エンパワメントのための様々な事業を進めます。

- ・ **自らの成長を実感できる組織風土をつくります**

職員が多様なリーダーシップを発揮するために、組織のミッションを理解し、自らに限界を設けず専門性と能力を高めることをバックアップします。



中期方針

平成29年度(2017年度)から平成33年度(2021年度)

重点的な取り組み

- ① 地域における男女共同参画の推進
- ② 働く場で女性が責任と役割を果たすことができるための支援
- ③ 震災・復興の経験をつなぐ取り組み
- ④ 女性の貧困の可視化と自立に向けた支援
- ⑤ 先見的、潜在的課題に取り組むための専門性と組織力の向上